

トラリピを注文してみるの巻

トラリピ上級者になろうの巻

トラリピをメンテナンスしようの巻

トラリピを長く続けるコツを学ぼう!

トラリピ・パーフェクトガイド

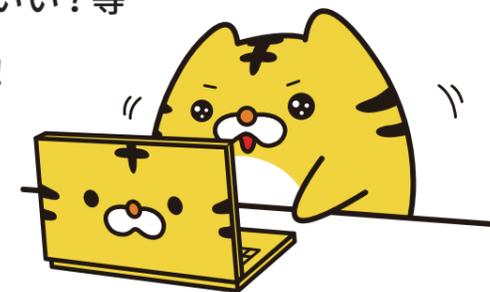


目次

トラリピのメンテナンス	4
トラリピの取消	6
トラリピの修正	18
なかなか決済されない	24
利益値幅の見直し	27
レンジの見直し	29
トラップ値幅の見直し	34
評価損が気になる	38
注意が必要な評価損	44
証拠金維持率が100%に近づいたら	48

「トラリピをメンテナンスしようの巻」は
こんな方におすすめ!

トラリピを仕掛けたけど今の設定のままでいいのか不安。
証拠金維持率が下がってきたけどどうしたらいい?等
トラリピを仕掛けた後のお悩みを解決します!

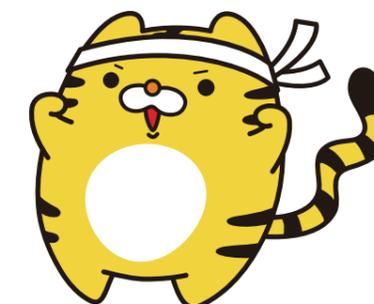


トラリピ注文の設定項目についてわからない方は…
→『[トラリピを注文してみるの巻](#)』がおすすめ!

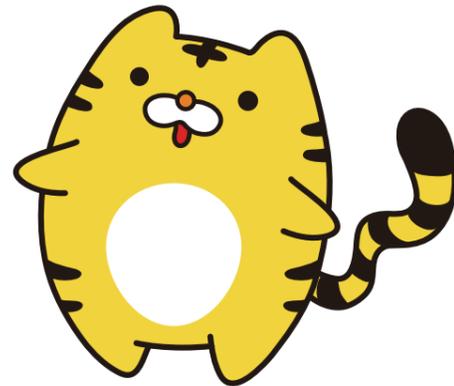
複数通貨ペアでトラリピを運用する場合や、ハーフ&ハーフ戦略について知りたい方は…
→『[トラリピ上級者になろうの巻](#)』がおすすめ!

「トラリピをメンテナンスしようの巻」では
トラリピの取消・修正方法、
どんなときに修正したほうがいいか等
トラリピのメンテナンスポイントに
ついて説明するがう!

マネースクエアのマスコットキャラクター
トラリピくん



トラリピって ほったらかしでいいよね メンテナンス必要なの？



たしかにトラリピはリピートされるので、注文を入れておけば、価格に到達すると自動的に取引を繰り返します。

ただし、そうはいつでも為替相場は常に動くので仕掛けているトラリピがなかなかリピートされなくなることもあります。

このようなときは仕掛けているトラリピの設定を見直す(メンテナンスする)ことで収益率を上げることが可能となります。

また、取引画面の証拠金維持率が下がってきたときも口座状況のメンテナンスを行うことをおすすめします。

証拠金維持率が下がってきたということはロスカットが近づいてきていることになるため、設定しているトラリピを整理したりポジションを少し決済してみたり、口座のリスク管理を試みましょう。

ちなみに、メンテナンスをするかどうかはあくまでお客様のご判断なので、例えばなかなか決済されないけど、このままの設定で様子を見る、とお考えであれば、もちろんそのままでも問題ないです。

こんなお悩みがあったらメンテナンスを試みましょう

- ・トラリピ注文を入れすぎたかも、少なくしたい
—————→ P.6 トラリピの取消
- ・リピート回数が減ってきた、なかなか決済されない
—————→ P.27 利益値幅の見直し
- ・新規ポジションが成立しない
—————→ P.29 レンジの見直し／P.34 トラップ値幅の見直し
- ・証拠金維持率が下がった、評価損が拡大している
—————→ P.48 証拠金維持率が100%に近づいたら



トラリピの取消

トラリピ注文は「取消」することができます。

こんなときに
トラリピ取消が
役に立ちます

- トラリピの注文を減らしたい
- トラリピのリピートを停止したい
- トラリピで成立したポジションをまとめて今すぐ決済したい
- トラリピで成立したポジションを自動(トラリピ)ではなく手動で決済したい
- トラリピをいったんやめたい

などなど、今設定しているトラリピの注文をなくしたい場合に取消を行います。

トラリピの取消はどこからできる？

取引画面メニュー「トラリピ管理表」よりできます。

トラリピ管理表

通貨ペア/銘柄	売買	注文レンジ	ストップロス	利益値幅
USD/JPY	買	145.000~151.000		0.700

トラリピ管理表で取消したい
トラリピを選択します。

トラリピの取消操作自体は簡単ですが、
難しいのが取消画面中に表示される

ポジションを残す

(決済注文を残す)

ポジションを残す

(決済注文を取り消す)

ポジションを決済する

(今すぐ成行で決済する)



のどれを選択したらいいのかということです。

そこで、それぞれどのような意味なのか、どれを選択したらよいか判断するポイントについてご説明します。

※ポジションを持っていない場合であってもこの選択項目は表示されます。ポジションを持っていないので、どれを選択しても結果には変わりはないですが、仮に取消完了するまでの間にポジションが成立した場合、選択した内容でポジション処理が行われます。

ポジションを決済する(今すぐ成行で決済する)を選択した場合

これはイメージしやすいと思いますが、取消するトラリピで保有しているポジションは**取消**が実行されると同時にその時のレートで決済されます。

ポジションがなくなるので、その分証拠金維持率が回復します。

トラリピの取消

このような場合はポジションを決済する(今すぐ成行で決済する)がおすすめ

- ポジションを手じまいたい、トラリピをやめたい
- 証拠金維持率を上昇させたい
- トラリピで保有しているポジションを今決済したい



ポジションを残す(決済注文を残す)を選択した場合

取消するトラリピで保有しているポジションは決済注文が設定された状態で残ります(ポジションを持っていないトラップは新規・決済ともに取消されます)。

つまり、トラリピは取消されるけど、保有しているポジションは残り、トラリピで設定していた決済価格に到達したら決済されます(リピートはしません)。

このような場合はポジションを残す(決済注文を残す)がおすすめ

- 保有しているポジションは取消と同時に決済したくない
- 保有しているポジションはトラリピで設定していた決済価格で決済したい



決済トレールやストップロスが設定されたトラリピはどのように決済注文が残る?

決済トレール付のトラリピ

ポジションに発生している評価損益の金額によって異なります。

設定している利益金額以上の評価益が発生している場合:

トラリピの取消と同時にポジションが成行で決済されます。

※「ポジションを残す」(決済注文を残す)を選択していても決済されてしまいますので、ご注意ください。

評価損が発生している or 評価益が設定している利益金額未満の場合:

通常の指値注文として決済注文が残ります。

※残った決済注文にトレール機能は引き継がれません。

例) **利益金額:500円**(決済トレール付)、1本あたり1,000通貨の買いトラリピ
今のレートが140.8円

- 140円のポジション(評価益800円、決済価格140.5円)
- 140.5円のポジション(評価益300円、決済価格141円)

上記状況でトラリピの取消(ポジションを残す(決済注文を残す))を行う

- 140円のポジション → 利益金額以上評価益が発生しているので決済される
- 140.5円のポジション → 評価益は利益金額未満のため、決済価格141円が設定され、ポジションは残る

トラリピの取消

ストップロス付のトラリピ

ストップロス(損切りの注文)も残ります。

ストップロス付のトラリピ注文を「ポジションを残す(決済注文を残す)」にて取消した場合、残ったポジションに対してはOCO注文で決済注文が残ります。

OCO注文とは

2つの注文を同時に設定できる注文方法です

例) ストップロス:135円、利益金額:500円、1本あたり1,000通貨の買いトラリピ
今のレートが138円

- 140円の買いポジション(決済価格140.5円 ストップロス135円)
- 139円の買いポジション(決済価格139.5円 ストップロス135円)

上記状況でトラリピの取消(ポジションを残す(決済注文を残す))を行う

- 140円の買いポジションに対しては以下のOCO注文が設定される
OCO注文1:140.5円の決済注文
OCO注文2:135円の決済注文
- 139円の買いポジションに対しては以下のOCO注文が設定される
OCO注文1:139.5円の決済注文
OCO注文2:135円の決済注文



ポジションを残す(決済注文を取り消す)を選択した場合

取消するトラリピで保有しているポジションは決済注文も取消されて、**ポジションのみが残ります**(ポジションを持っていないトラップは新規・決済ともに取消されます)。

つまり、**残ったポジションは決済注文を新たに設定しないと決済されません**。

このような場合はポジションを残す(決済注文を取り消す)がおすすめ

- 保有しているポジションを取消と同時に決済したくない
- 保有しているポジションに自分で決済注文を入れたい、
トラリピで設定していた利益値幅ではなく違う価格で決済したい
(例えばスワップ収益を目的として長期保有したい、
相場を見て自分で決済のタイミングを決めたい等)



トラリピ取消時にポジションを残した場合の注意点

1. ポジションを決済しないので、取消時点で証拠金維持率は変わりません

証拠金維持率は保有ポジションに係る証拠金(必要証拠金)と時価の残高(有効証拠金)で算出されます。

ポジションを残した場合、取消時点でポジションは決済されないため、必要証拠金は解放されず、証拠金維持率は変わりません。

また、ポジションを残して取消した後、新たにトラリピを注文し直した場合、残したポジションと合わせるとポジションを多く保有することとなり、証拠金維持率の低下につながる可能性もあります。

トラリピの取消

2. 残ったポジションはトラリピではなく「通常」注文のポジションとして残ります。

トラリピ注文ではなくなるので、残したポジションは「トラリピ管理表」に表示されません。

また、「ポジションを残す(決済注文を残す)」を選択した場合、残った決済注文についても「トラリピ注文」→「(通常の)指値注文」に切り替わります。

「(通常の)指値注文」でポジションが決済されてもリピートしないのでご注意ください。
「ポジションを残す(決済注文を取り消す)」も同様に残したポジションはトラリピではなくなるので、手動(成行や指値等)で決済してもリピートしません。



残ったポジションの確認方法

トラリピの取消により残ったポジションは「通常」注文のポジションとして残るとご説明しましたが、この「残ったポジションが見当たらない」「ポジションが残っているのかわからない」といったお問い合わせをよくいただきます。

そこで残ったポジションの確認方法についてご説明します。

残ったポジションは 取引画面メニュー「ポジション一覧」より確認

残ったポジションは「通常」注文のポジションなので「通常」で絞込をかけると確認しやすくなります。

トレード画面「ポジション一覧」

ポジション一覧								
決済注文		すべての通貨ペア/銘柄		売買	<input checked="" type="checkbox"/> 売 <input checked="" type="checkbox"/> 買	注文種別	<input checked="" type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> トラリピ	絞り込む
<input type="checkbox"/> 全て選択	通貨ペア/銘柄	売買	数量	取得価格	評価損益	(ポジション損益)	(スワップ/調整額)	成立日時
<input type="checkbox"/>	注文有 USD/JPY	買	1,000	150.000	-35,923	-36,019	+96	2024/04/18 17
<input type="checkbox"/>	USD/JPY	買	1,000	150.000	-35,923	-36,019	+96	2024/04/18 17
<input type="checkbox"/>	USD/JPY	買	1,000	152.000	-37,923	-38,019	+96	2024/04/18 17

スマホアプリ「ポジション一覧」

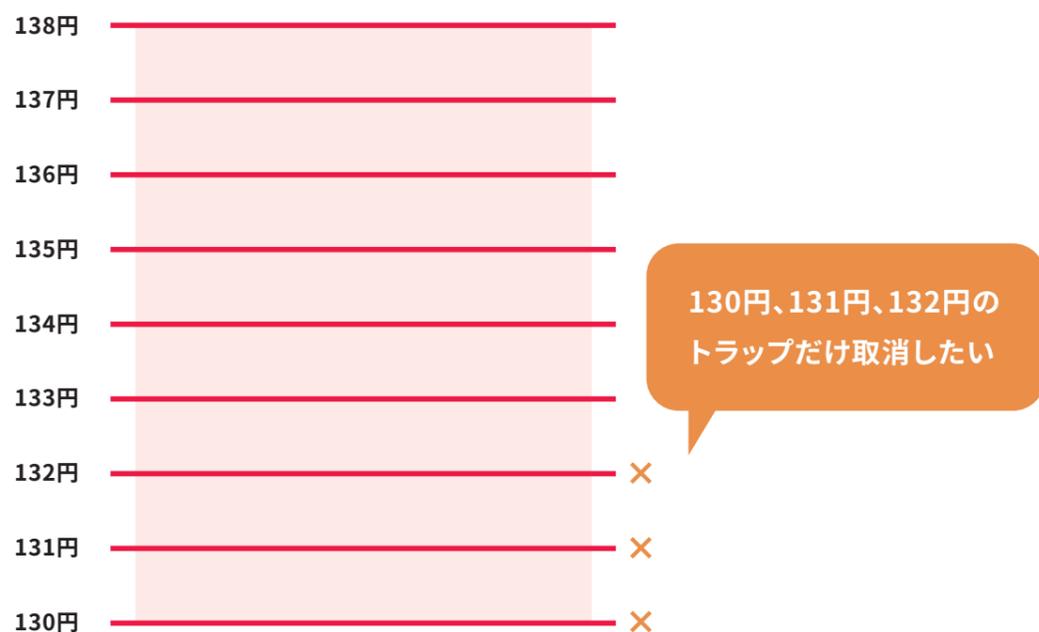
フィルターマークを
タップすると
絞込が選択できる

照会・決済					
ポジション一覧			注文一覧		
通貨ペア/銘柄	売買	数量	取得価格	評価損益	(ポジション) (スワップ等)
MXN/JPY	買	1	7.450	+17,326	+17,320 +6
ZAR/JPY	買	1	6.996	+10,946	+10,940 +6
TRY/JPY	買	1.0	4.400	+3,466	+3,460 +6
GBP/USD	買	1.0	1.25525	-14,930	-14,942 +12
GBP/JPY	売	1.0	190.490	-3,612	-3,600 -12

トラリピの取消

トラップの一部だけ取消することもできる？

レンジ130円～138円のトラリピ



仕掛けているトラリピ(130円～138円)をまとめて取消するのではなく、その内の一部トラップ(130円、131円、132円)を取消することもできます。

取消する方法

トラリピのトラップを一部取消する場合「トラリピ詳細」から取消したいトラップを選択して取消します。

PC取引画面とスマートフォンアプリで操作が少し異なるので、それぞれご説明します。

PC取引画面の場合

トラリピ管理表でトラップを取消したいトラリピを選択

USD/JPY 買 130.000 ~ 138.000

クリック

「トラリピ詳細」画面が表示されるので、画面右側のトラップが一覧で表示されている表から取消したいトラップにチェックを入れて【一部取消】ボタンを押下

本数	平均価格	仕切り	保有/合計数量	評価損益	(ポジション)	(スワップ)	
0/9	-	-	0/9,000	0	0	0	一部取消
#	新規・買	決済・売	注文数量	評価損益	(ポジション)	(スワップ)	
1	138.000	138.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
2	137.000	137.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
3	136.000	136.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
4	135.000	135.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
5	134.000	134.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
6	133.000	133.700	1,000	-	-	-	<input type="checkbox"/>
7	132.000	132.700	1,000	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>
8	131.000	131.700	1,000	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>
9	130.000	130.700	1,000	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>

クリック

チェックを入れる

注文取消確認画面が表示されるので確認し、【取消する】ボタンを押下

トラリピの取消

スマホアプリの場合

トラリピ管理表でトラップを取消したいトラリピをタップし、「トラリピ詳細」を選択

「トラリピ詳細」画面でトラップの表一番下
【一部取消】ボタンをタップ

1本ごとの詳細

#	新規・買	決済・売	評価損益 (ポジション)	(スワップ)
1	138.000	138.700	-	-
2	137.000	137.700	-	-
3	136.000	136.700	-	-
4	135.000	135.700	-	-
5	134.000	134.700	-	-
6	133.000	133.700	-	-
7	132.000	132.700	-	-
8	131.000	131.700	-	-
9	130.000	130.700	-	-

一部取消

チェックを入れる

スマホアプリは【一部取消】ボタンを押すと
チェックボックスが表示されます

取消したいトラップにチェックを入れて
【取消確認】ボタンをタップ

1本ごとの詳細

<input type="checkbox"/>	新規・買	決済・売	評価損益 (ポジション)	(スワップ)
<input type="checkbox"/>	138.000	138.700	-	-
<input type="checkbox"/>	137.000	137.700	-	-
<input type="checkbox"/>	136.000	136.700	-	-
<input type="checkbox"/>	135.000	135.700	-	-
<input type="checkbox"/>	134.000	134.700	-	-
<input type="checkbox"/>	133.000	133.700	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	132.000	132.700	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	131.000	131.700	-	-
<input checked="" type="checkbox"/>	130.000	130.700	-	-

キャンセル 取消確認

タップ

取消確認画面が表示されるので確認し、【取消する】ボタンを押下

ポジションが成立しているトラップを 一部取消したらどうなりますか？

決済注文だけ取消されてポジションは残ります

残ったポジションはトラリピではなくなるので、トラリピ管理表からトラップは消えます。
また、残ったポジションに対して手動で決済注文を入れることができます。

ポジションが成立しているトラップは、
新規・買(もしくは新規・売)の価格がグレーになっています。

買いトラリピ

新規・買	決済・売
1.31000	1.31200
1.30900	1.31100

売りトラリピ

新規・売	決済・買
1.09400	1.09200
1.09300	1.09100

ここまでがトラリピの取消に
についての説明がう!



トラリピの修正

一度注文したトラリピの設定内容を変更できる？



下記項目は変更可能です。

- 利益値幅/利益金額
- 決済トレールの設定/解除
- ストップロスの追加/価格の変更
- レンジシフトの設定/解除

ちなみに、ストップロスは後から追加することや価格の変更は可能ですが、削除することはできません。

どうしてもストップロスを削除したい(ストップロスで成立させたくない)場合、代替案として今のレートとかなり離れた価格に変更することで、実質的にストップロスを約定させず、削除と同様の効果が期待できます。

例)米ドル/円の今のレートが140円

買いトラリピのストップロスを135円で設定している

この場合、例えばストップロスの価格を30円と変更することで、米ドル/円のレートが30円になるまでストップロスは執行されないため、ストップロスが成立する可能性が限りなく下がります(ストップロスが削除されたことと同様の効果を期待できます)。

どこから変更できる？

トラリピの設定項目の変更は「トラリピ管理表」から行えます。

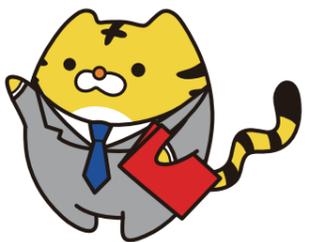
利益値幅	変更	0.900
利益金額		900円
せま得非適用		<input type="checkbox"/>
決済トレール	設定	設定なし
ストップロス	追加	設定なし
レンジシフト	設定	設定なし

レンジ・注文数量・トラップ本数(トラップ値幅)を変更したい場合は？

トラリピの取消を行い、変更したい内容で注文し直します。

トラリピ管理表の「トラリピ再設定※」を利用すると取消と注文し直しが同時にできるがう

※トラリピ再設定を行う際はトラリピの取消時と同様、保有しているポジションを決済するか・残すかについて、ご判断いただくこととなりますので、ご注意ください。



つまり、レンジ・注文数量・トラップ本数は設定しているトラリピを残したまま変更・修正することはできず、一度注文を取消後、注文し直さなければならないということです。

トラリピの修正

こんな変更方法も
あります

取消や再設定以外で、**実質的に**注文内容を変更する方法

レンジ・トラップ本数・注文数量については変更できませんが、以下でご案内する方法で、**実質的**※に注文内容を変更することが可能です。

※「実質的に」というのは、トラリピの設定内容としては変更されていないが、口座全体で見ると変更したことと同様ということです。

ケース1

トラップ本数を増やす・レンジを広げる

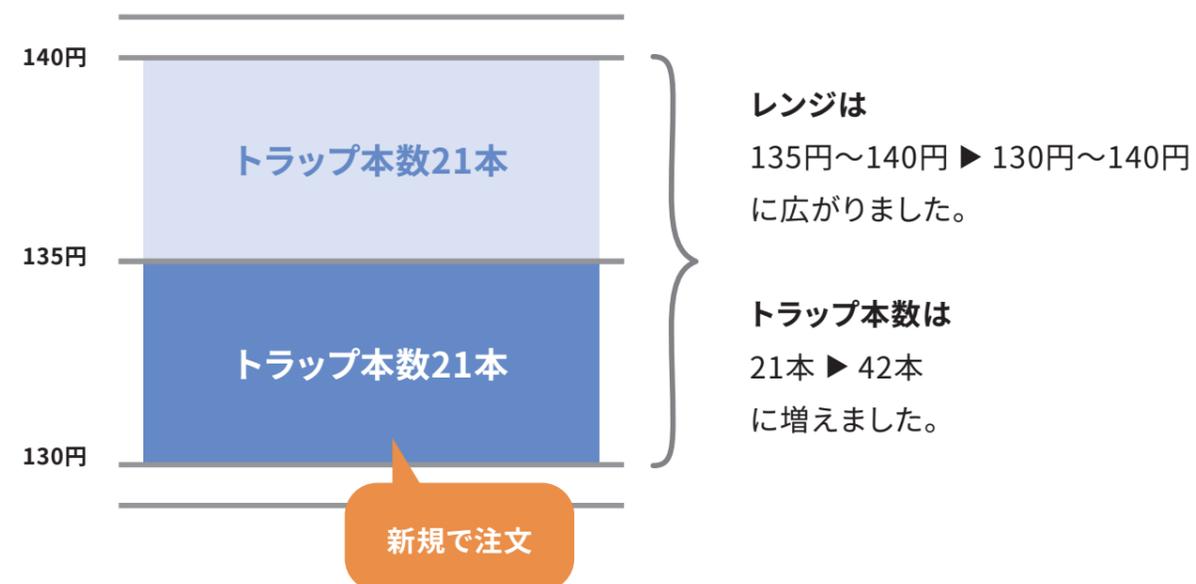
▼
増やしたい(広げたい)分だけトラリピを新規注文

例)米ドル/円の買いトラリピをレンジ(135円~140円)、トラップ本数(21本)で仕掛けています。



トラップ本数を倍にして
レンジを130円まで広げたい

レンジ(130円~135円)、トラップ本数(21本)の トラリピを新規で注文



別々のトラリピを設定していることにはなりますが、口座全体として見たときに、レンジの拡大・トラップ本数を増加することができました。

ケース2

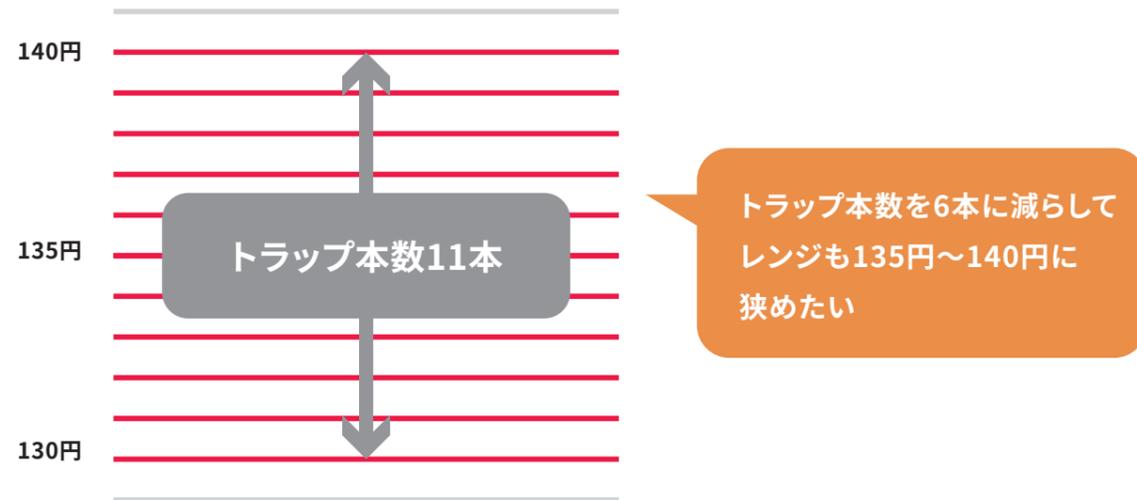
トラップ本数を減らす・レンジを狭くする

▼
トラップの一部取消

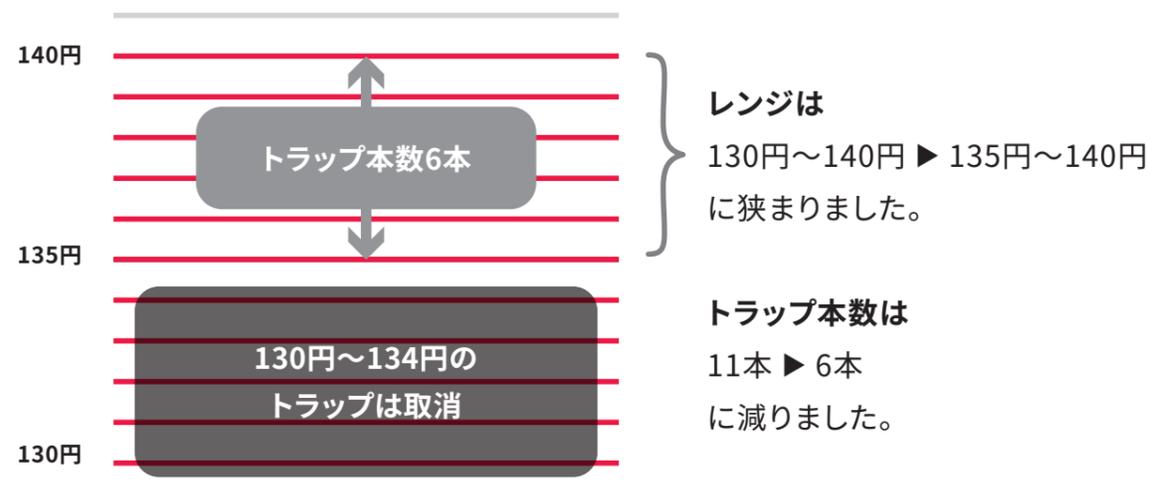
トラップの一部取消についてはP.14で案内しています。

トラリピの修正

例) 米ドル/円の買いトラリピをレンジ(130円~140円)、トラップ本数(11本)で仕掛けています。

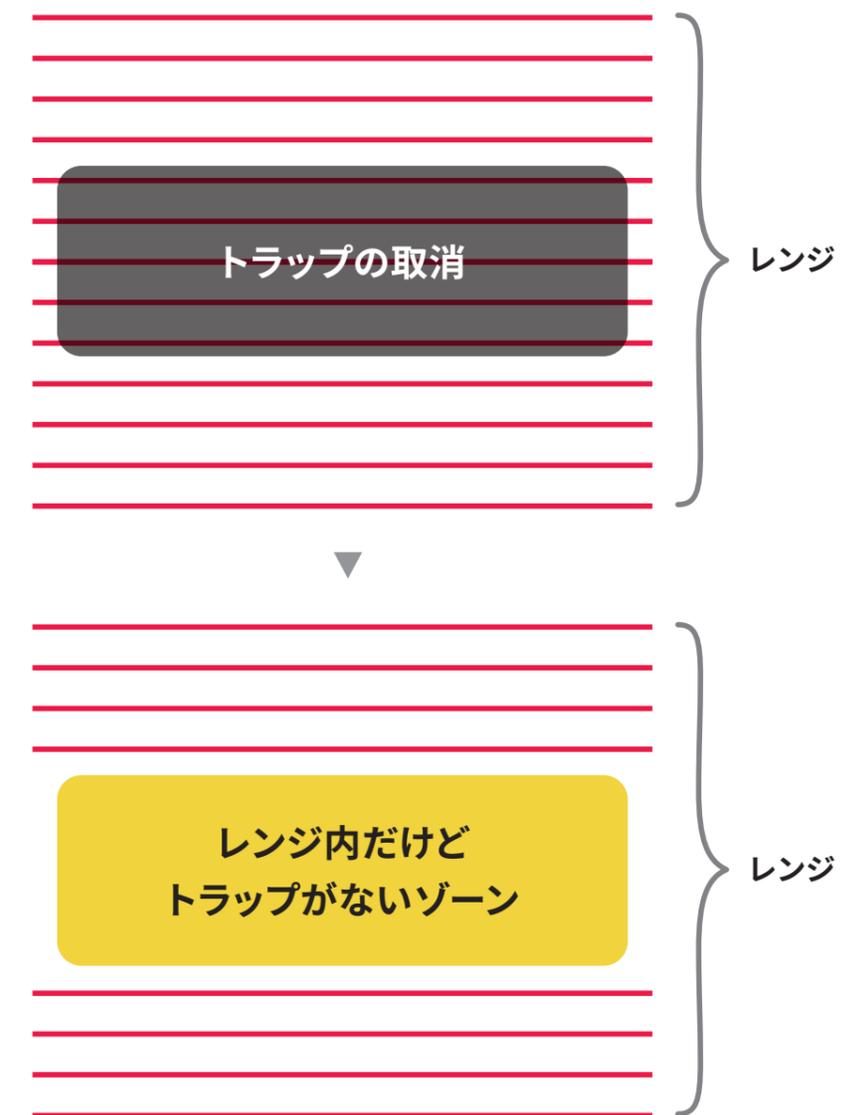


130円~134円のトラップ(5本)を取消す



トラップ本数を少なくするためにトラップの一部取消を行うときの注意事項

レンジ下限・上限以外のトラップを取消するとレンジ内で一部トラップが設定されていない箇所ができてしまうのでご注意ください。



このようにレンジ内でトラップがないゾーンができてしまうと、レンジ内にレートがあるのに、取引が行われないということになるため、ご注意ください。

なかなか決済されない

最近、利益が少ないな……

決済価格までなかなかレートが動かない……

決済される(利益が得られる)頻度についてはあくまで相場の動きによります。
このため日によって決済が多かったり、少なかったりすることはもちろんあります。
ただし、ポジションは成立するけど、なかなか決済されずという状態が続く場合、設定している利益値幅が相場の動きよりも大きすぎる可能性があります。
この場合は利益値幅を狭くすることにより決済回数を増やすことが期待できます。
利益値幅を小さく設定することで、1回の決済で得られる利益は少なくなりますが、少ない値動きも逃さず利益につなげることができ、決済回数が増えることにより利益が積み重なることが期待できます。

成立カレンダーで新規・決済成立具合をチェック

成立カレンダーは取引画面に掲載しています。
日付毎*に成立した決済注文の売買損益を合計してカレンダー形式で掲載しています。

※日付の区切りはNYクローズです。

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3 +500円	4 +1,000円	5 +1,000円	6	7	8	9
10 +500円	11 0円	12	13	14	15	16
17 +500円	18 +500円	19 -2,000円	20 0円	21 0円	22	23
24	25	26 0円	27 +500円	28 +500円	29	30

「0円」は新規が成立したけど決済が成立しなかった日

赤枠で囲まれている(何も金額が表示されていない)日付は、新規・決済共に成立しなかった日
※実際の成立カレンダー上では赤枠は表示されていません。

金額が表示されていない日付が多い場合、新規・決済が行われる頻度が少ないとみとれます。

なかなか決済されない

成立カレンダーで日々の利益等を確認したら下記のように対応してみましょう。

0の日付が多い

利益値幅の見直し
P.27

0の日付が多い場合は、ポジションは成立するけど、決済注文が成立しない日が多いということです。

金額がない日付が多い

レンジの見直し トラップ値幅の見直し
P.29 P.34

金額の表示がない日付が多い場合は、新規(ポジション)・決済どちらも成立しなかった日が多いということなので、まずは利益の元となるポジションの成立について見直すことをおすすめします。

1日の利益が多いこともうれしいけど、少ない利益でも毎日決済やポジションの成立があることもトラリピ運用にとって重要がう



利益値幅の見直し

利益値幅の変更方法やどのくらいの値にすべきか確認するポイントをご説明します。

まずは、今の利益値幅が相場の動きと比べてどんな感じか確認

チャートに表示できる平均値幅(ATR)を見てみましょう。

ATRとは？

ATRとは簡単に言うと「ある期間の値動きの平均を計算したもの」です。例えば日足で見た場合は1日あたり平均でどれくらいの値動きがあったのかということが確認できます。

ATRの設定方法やチャートの見方については「トラリピ・パーフェクトガイド」の「トラリピを注文してみるの巻」(利益値幅/利益金額)で紹介していますので、ここでは割愛します。

トラリピ・パーフェクトガイド「トラリピを注文してみるの巻」
https://www.m2j.co.jp/sc/web/pdf/TORARIP1_GUIDE1.pdf



利益値幅の見直し

ATRで値幅を確認したらいくらに設定したらいいの？

ATRは先ほどもご説明したように平均した値幅を表しています。このため、ATRより大きく動く日もあれば、小さく動くこともあります。

1日1回の決済を期待される場合は、利益値幅をATRの2分の1程度にしてみるのも一考かと思えます。

ポイントまとめ

利益値幅はATR(日足)の1/2くらいにすると1日1回の決済が狙いやすい

利益値幅の変更はトラリピ管理表から操作できます。



トラリピ管理表から該当の
トラリピを選択して
「利益値幅/利益金額変更」を選択



変更したい値を入力して完了すれば、
即座に利益値幅が変わります



レンジの見直し

ポジションがなかなか成立しない場合、レンジとトラップ値幅を見直してみるのもよいでしょう。

まずは、レンジ内にレートがあるか確認

「トラリピ管理表」で「レンジアウトに色をつける」をONにしてチェック

USD/JPY	買	139.100 ~ 160.100
USD/JPY	買	152.862 ~ 157.842
USD/JPY	買	142.000 ~ 151.990
EUR/GBP	売	0.85010 ~ 0.95000
EUR/GBP	買	0.75000 ~ 0.84990
AUD/JPY	買	95.000 ~ 95.990
AUD/JPY	買	95.000 ~ 95.990

青もしくは黄色のトラリピは
レンジアウトしている

青と黄色の意味合いは以下の通りです。

- 青色** ポジションがすべて決済される方向へレンジアウトしています。
- 黄色** 評価損が発生する方向へレンジアウトしています。

レンジの見直し

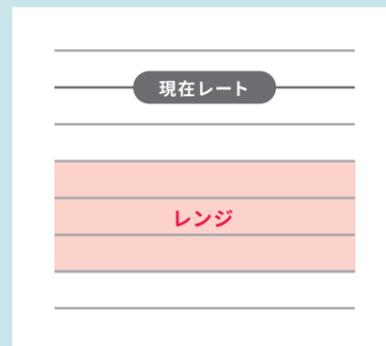
わかりやすく説明すると
こんな感じがう



青色のケース

買いトラリピ

レンジより上に現在レートがある状態



売りトラリピ

レンジより下に現在レートがある状態



黄色のケース

買いトラリピ

レンジより下に現在レートがある状態



売りトラリピ

レンジより上に現在レートがある状態



青色のケース

ポジションを持っていない状態でレンジアウトしているので、取消して、今のレートに合うようにトラリピを注文してみると、ポジションが成立する可能性が高くなります。

黄色のケース

ポジションを持っていない場合

青色のケース同様、取消して、今のレートに合うようにトラリピを注文してみると、ポジションが成立する可能性が高くなります。

ポジションを持っている場合

ポジションを持っている場合は注意が必要です!

なぜかという、ポジションに評価損が発生しているからです。

この場合は取消するとき損を確定させるか(ポジションを決済する)ポジションを残したまま新たなレンジでトラリピを注文するか、決める必要があります。



●ポジションを決済すると……

損は確定しますが、証拠金維持率が上がるので、新たなトラリピを注文しても口座に余裕が生まれます。

●ポジションを保有したままだと……

レートが反転すれば評価損が解消され、利益を確定できる可能性があります。

一方、ポジションを残したまま新たなトラリピを注文した場合、残ったポジション+新しいトラリピの合計でポジションが多くなるので、ロスカットに対するリスクが上がります。

なお、口座に十分余力がある(証拠金維持率が高く、発注可能額が十分にある)状態で、レンジアウトしているトラリピについて、いずれレートが戻ってくると想定されている場合は、レンジアウトしているトラリピを残しておいて、新たなレンジにトラリピを注文することも検討できます。

レンジの見直し

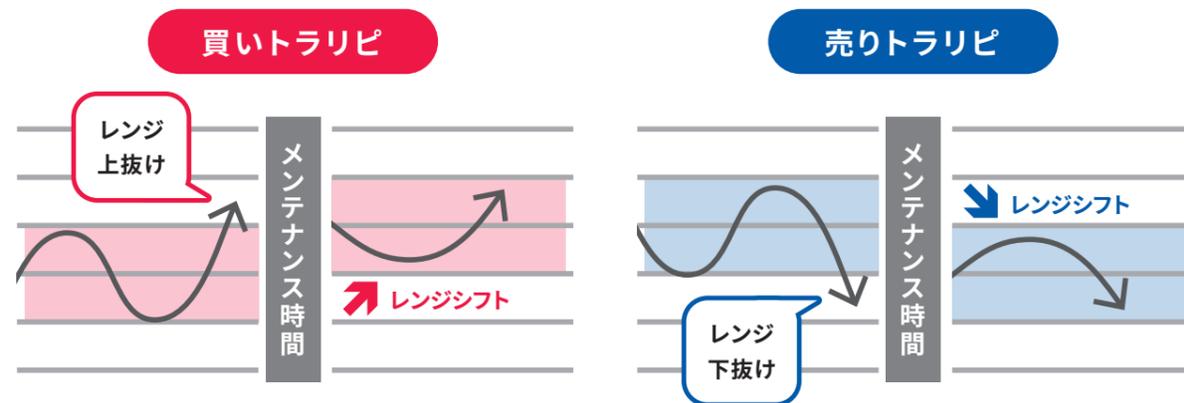
レンジシフトを付けたらレンジアウトする可能性は低くなりますか？

レンジシフトを付けた場合、レートが利益の出る方向(トラリピ管理表では青色表示)にレンジアウトすると、レンジが自動的にシフトします。このためレンジアウトを減らすことが期待できます。

レンジシフトの仕組み

取引終了時点のレートが買いトラリピであればレンジ上限、売りトラリピであればレンジ下限を抜けている場合、シフトします。

※評価損が出る方向(トラリピ管理表だと黄色)にレンジアウトした場合はシフトしません。



レンジシフトは、トラリピの初回注文時だけでなく、注文後でも追加できますが、その時点でレンジアウトしているトラリピには追加できませんのでご注意ください。

※レンジシフトの設定条件

- ☑ ストップロスの設定が必須
- ☑ 決済トレールの併用は不可
- ☑ 現在レートが設定するレンジ内にある(レンジアウトしていない)
- ☑ トラップ本数が2本以上
- ☑ 利益値幅がシフト値幅(おおよそレンジ半分)より小さい
- ☑ トラップの一部取消がされていない(設定時から本数が変わっていない)

ポジションもシフトしますか？

ポジションはシフトしません。

レンジシフトの設定条件：

利益値幅がシフト値幅(おおよそレンジ半分)より小さい

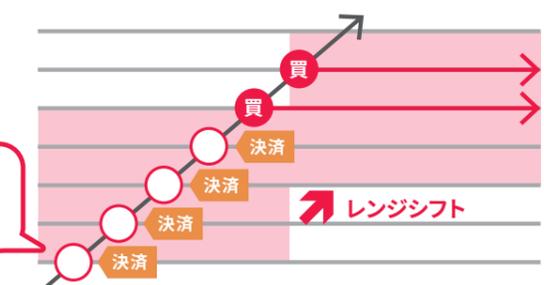
シフトの条件：

利益が出る方向にレンジアウトした場合(レンジが半分ずつシフトする)

つまり、シフト発動時点ではレンジ内の多くのトラップで成立したポジションは決済(利益確定)済みということになります。このため、ポジションの取得価格が変わる(シフトする)ことはありません。

※買いトラリピの ポジションイメージ

レートの上昇に伴い
ポジションが決済される



トラップ値幅の見直し

レンジアウトしていないのに、ポジションが成立しない

レンジ内にレートがあるのに、ポジションがなかなか成立しない場合、**トラップ値幅と利益値幅がレートの変動に対し広すぎる可能性があります。**

トラップ値幅
って
何だっけ？

買いのトラリピであれば、買いの注文が入る間隔
(売りのトラリピであれば、売りの注文が入る間隔)です。

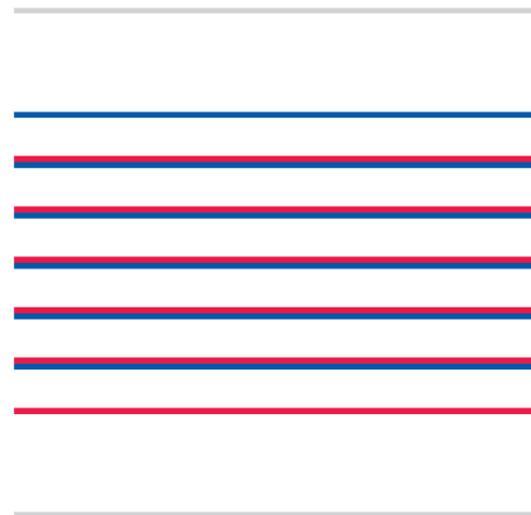
詳しくは「トラリピ・パーフェクトガイド」
(トラリピを注文してみるの巻)でご説明しています。

トラップ値幅と利益値幅が広すぎるとは

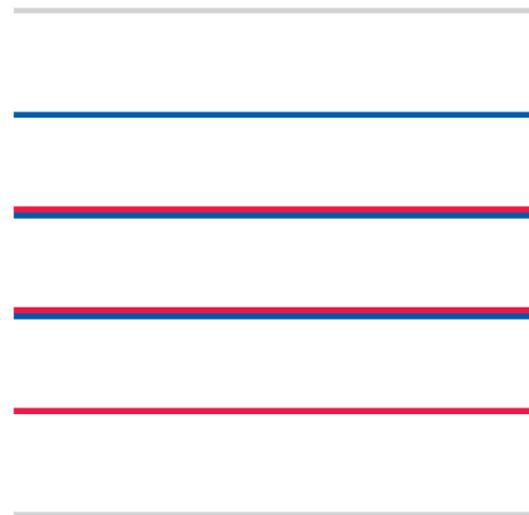
トラップ値幅＝利益値幅のトラリピで比較します。

— 買いトラップ
— 売りトラップ

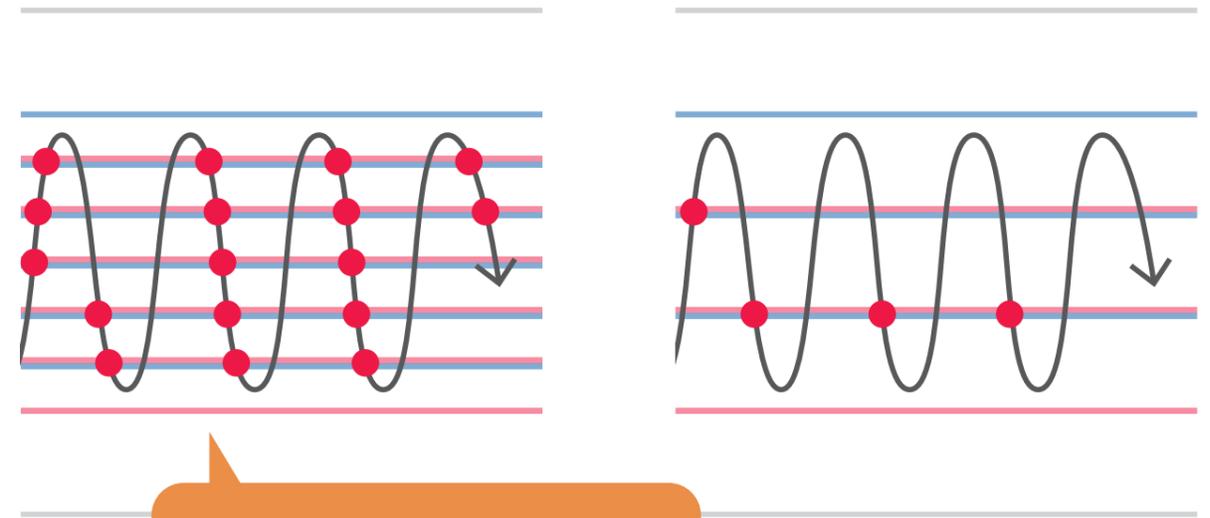
トラップ&利益値幅が狭い



トラップ&利益値幅が広い



同じレートの動きをした場合……



狭い方がポジションが成立しやすい

ちなみにポジションを既に持っているトラップの価格に何回もレートが到達してもポジションが増えるわけではないので、利益値幅が広い(決済されにくい)状態の場合もポジションは成立しにくくなります。

売り

ここまでレートが上昇すると決済されます

買い

買

このポジションが決済されるまでは同じ価格にレートが到達してもポジションは増えません

トラップ値幅の見直し

トラップ値幅を狭める方法は？

P.19でご説明している通り、トラップ値幅は設定しているトラリピを残したまま変更することはできません。

このため、一度設定しているトラリピを取消後、注文し直す操作が必要です。

この数値を変えたらトラップ値幅が狭くなります

$$\text{トラップ値幅} = (\text{レンジ上限} - \text{レンジ下限}) \div (\text{トラップ本数} - 1)$$

つまり、レンジを狭くする もしくは トラップ本数を増やすことで、
トラップ値幅が狭まります。



口座に十分な余裕がある



トラップ本数を増やす

ことを検討

証拠金を増やしたくない



レンジを狭くする

ことを検討

注文画面でトラップ値幅と利益値幅の数値をチェック

トラップ本数 ?	-	41	+
	トラップ値幅 0.300		
利益値幅 ?	0.300		
利益金額を指定する >	300円		

ちなみに、トラップ値幅(+利益値幅)を小さくするときに、

$$\text{トラップ値幅} = \text{利益値幅} \quad \text{もしくは} \quad \text{トラップ値幅} < \text{利益値幅}$$

となるように設定してみると、非効率なゾーンを無くすことができます。

※詳しくは「トラリピ・パーフェクトガイド」(トラリピを注文してみるの巻)でご説明しています。

ポジションが成立しやすくなることで
取引の機会は増えるけど、
証拠金維持率も下がりやすくなるので、
「トラリピのリスクを試算」でリスク管理を
行ってから注文したほうがよいがう



評価損が気になる

トラリピを運用しはじめたときに気になるのが評価損。

預託証拠金	有効証拠金	評価損益
1,000,000	900,000	-100,000



評価損益とは

持っているポジションをリアルタイムのレートで評価した場合に発生する損益です。確定したものではなく、レートの動きによってリアルタイムで変動します。

つまり、トラリピでポジションを持つと、持った価格と今のレートの価格で評価損益が算出されるということ。

トラリピについては運用している間、評価損(含み損ともいいます)を抱える場面が多くあります。

このため、この「評価損」を見て、すぐにトラリピを取消してしまうお客様が少なくありません。

たしかに、評価損がこのまま大きくなってしまったら証拠金維持率が下がってロスカットが執行されてしまう可能性もあります。

一方で、評価損が出ているからといって取消してしまうと、取消後にレートが反転した場合、獲得できたであろう利益を逃してしまうことになります。

例えば買いポジションで評価損が出ていたので取消→その後レートが反転(上昇)した場合、損切しなければ(取消しなければ)利益が得られた可能性もあったのに、その機会を逃してしまったことになります。

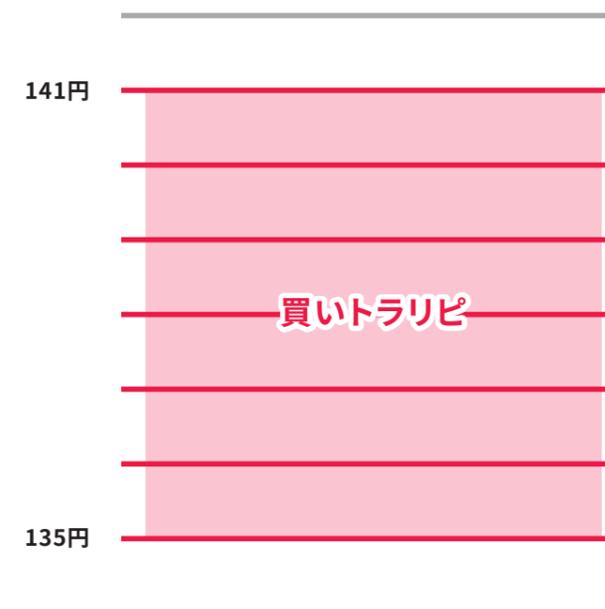


そこで、トラリピを運用していく上での評価損との向き合い方についてご説明します。

なぜ、トラリピは評価損を抱えやすいのか

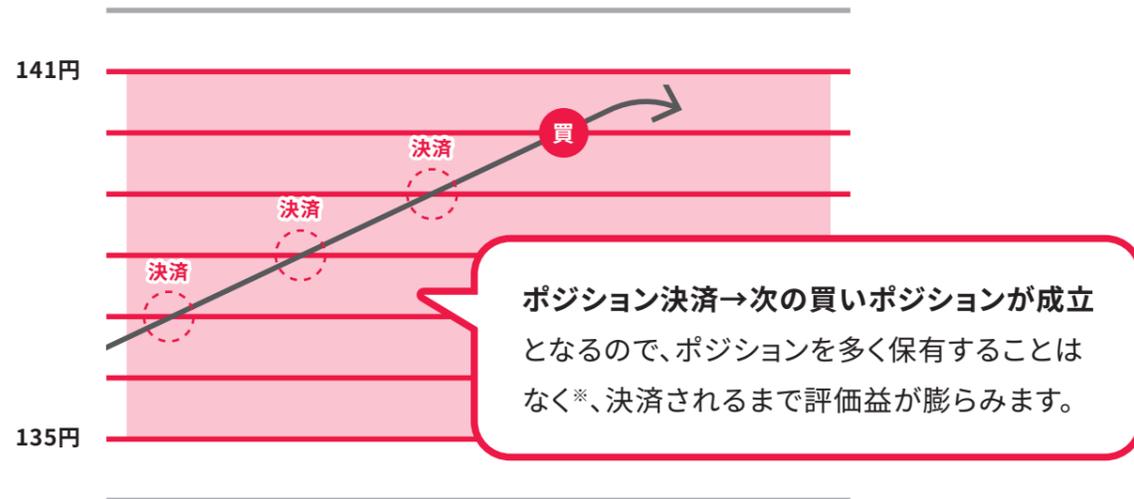
買いトラリピの場合でご説明します。

例えば、以下のように135円～141円の買いトラリピを設定しているとします。



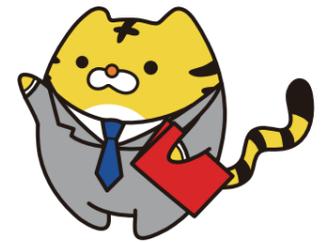
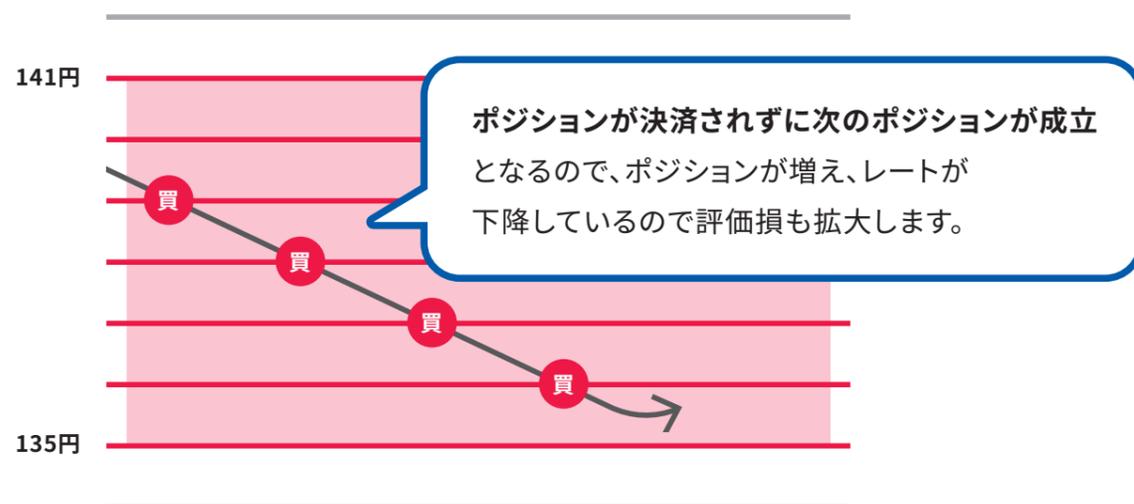
評価損が気になる

レートの上昇局面



※設定している利益値幅がトラップ値幅よりも大きい場合はポジションが決済される前に次のポジションが成立します。

レートの下降局面



つまり

買いトラリピであれば

レンジ内でレートが下降しているときにポジションが増えながら評価損も増える

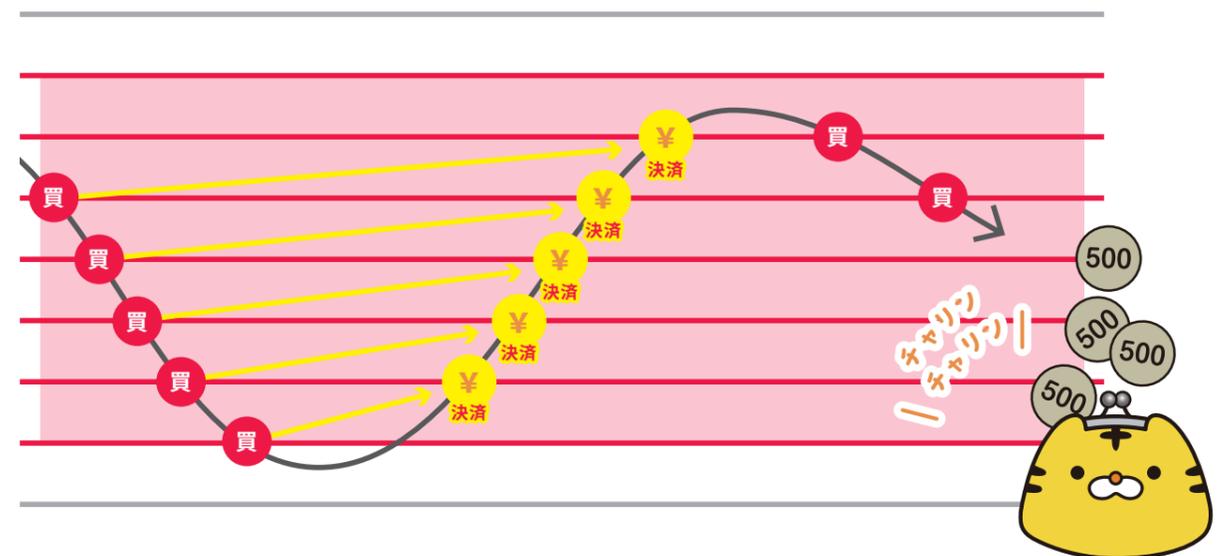
売りトラリピであれば

レンジ内でレートが上昇しているときにポジションが増えながら評価損も増える

評価損はあるけど

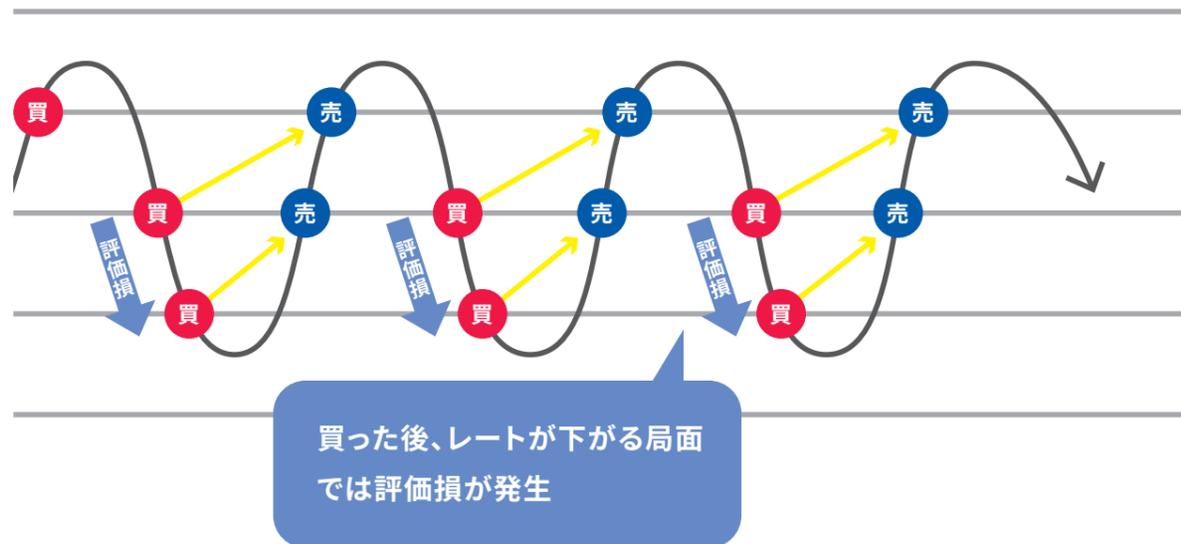
ポジションが増えているということは利益獲得できる機会が増えているということ。レートが反転したときは次々にポジションが決済されて利益を積み重ねることが期待できます。

レートが反転して上昇すれば溜まったポジションが決済される

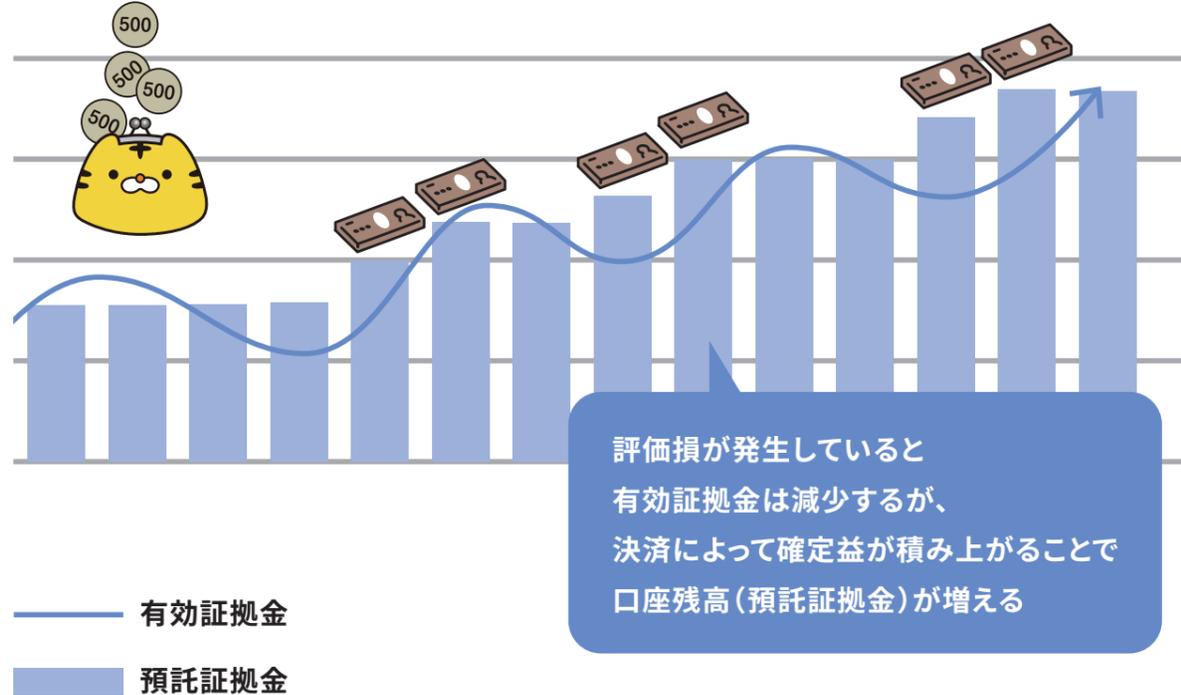


評価損が気になる

買いトラリピのイメージ



口座状況の推移



これまでご説明した評価損は「トラリピのレンジ内でレートが動いている」状態で評価損が発生しているケースです。この場合評価損は発生しますが、レートがレンジ内で動いているので、新規成立→決済成立を繰り返しながら利益を積み重ねることが期待できます。

ただし、レンジ内で動いていても、証拠金維持率が100%を下回ってしまうとロスカットが執行されてしまいますので、証拠金維持率は適宜確認しておくようにしましょう。

ポイントまとめ

- トラリピは評価損を抱えやすい
 - レンジ内でレートが動いていれば、評価損があっても先々決済が成立して利益獲得のチャンスがある
- レンジ内でレートが動いていて、かつ証拠金維持率に十分余裕がある状態であればトラリピの取消や損切りを急ぐような状況ではありません

注意が必要な評価損

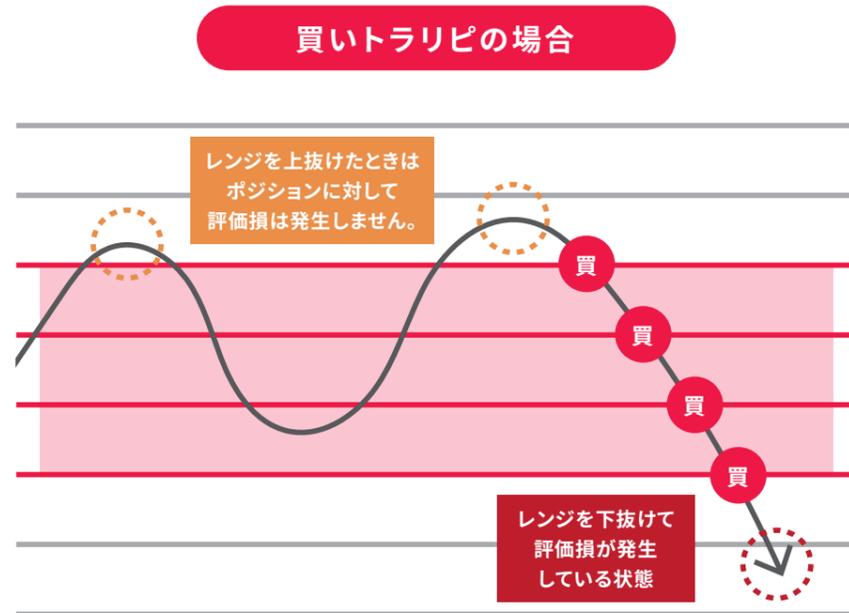
注意が必要な評価損

以下のような状態で評価損が発生している場合は注意が必要です。

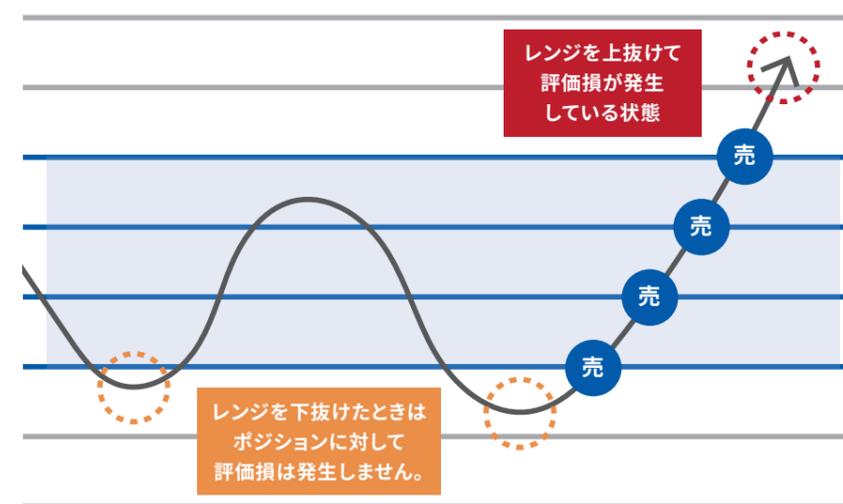
- 1.レンジを抜けて発生している評価損
- 2.証拠金維持率が100%に近い
▶ ロスカット水準に近い

1.レンジを抜けて発生している評価損

以下のような状態を指します。



売りトラリピの場合



このように、評価損が発生する方向にレンジアウトしていると、新たな取引は成立しない（利益を得る機会がない）状態で評価損が発生（レートの動きによっては拡大）することになりますので、注意が必要です。

トラリピ管理表「レンジアウトに色をつける」をONにした場合、黄色になっているものが、評価損が発生する方にレンジアウトしているトラリピがう。

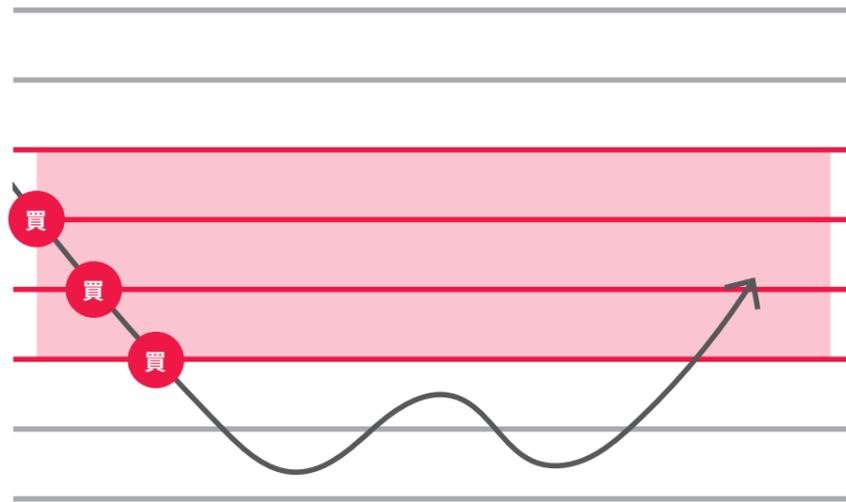


注意が必要な評価損

評価損が出る方向にレンジアウトしたときに対応できること

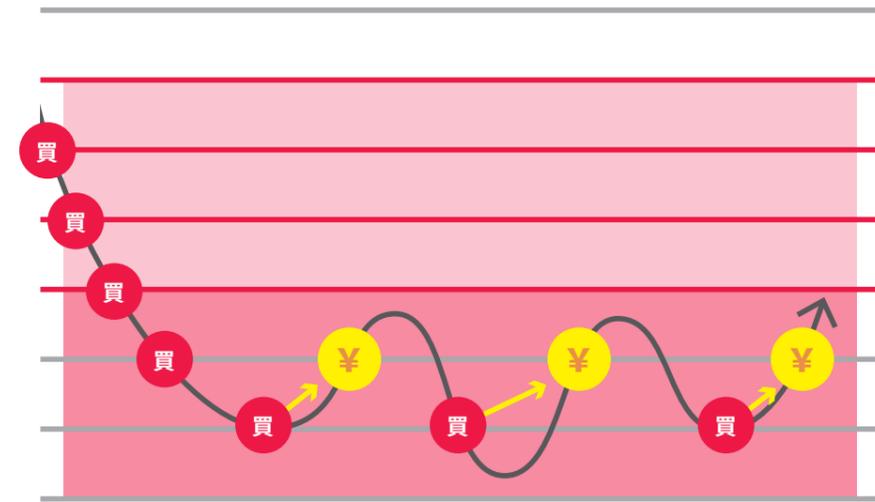
※証拠金維持率が高く、口座に余裕がある場合に限りです。
証拠金維持率が100%に近い場合はP.48を参照してください。

レンジ内にレートが戻ってくるまで待つ



レンジが外れていても戻ることを見越して、今設定しているトラリピは特に変えずにレートが再びレンジ内に戻ることを待ちます。この場合は適宜証拠金維持率のチェックを行って、レンジが戻ってくるまで耐えられるように口座の管理を行います。

新たなトラリピを注文して利益を得られる機会をつくる



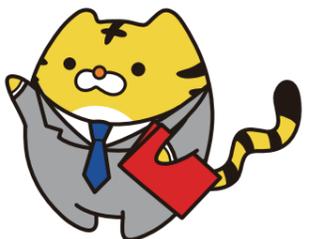
口座に資金的余裕があれば、仕掛けているトラリピに加えて、今の相場動向にあった新たなトラリピを追加することで、利益を積み重ねることが期待できます。

また、同じ通貨ペアではなく、別の通貨ペアでトラリピを新たに運用することで、口座内で利益を得られる機会をつくることもできます。

評価損はあるけど、新たなトラリピで利益を積み重ねることができたら、口座の資金を増やすことが期待できるがう



気長に待つがう



証拠金維持率が100%に近づいたら

2. 証拠金維持率が100%に近い

この場合はロスカット水準に近い状態です。ロスカットを回避するためには証拠金維持率を上げる必要があります。

ロスカットとは？

資金が一定の割合まで目減りしたときに自動的に取引を終了させて損失を確定する制度。「トラリピFX」および「トラリピCFD」ではそれぞれの口座で算出される証拠金維持率が『100%』を下回っていた場合、ロスカットが執行されます。

ロスカットが執行された口座の保有ポジションはすべて強制決済されます。

※ロスカットの執行は「トラリピFX口座」「トラリピCFD口座」単位で行われます。個々のトラリピや通貨ペア単位で行われるものではありませんのでご注意ください。また、ロスカットは証拠金維持率で判定されるので、ロスカットを回避するためには証拠金維持率を100%以上で維持する必要があります。

証拠金維持率とは？

取引画面「口座状況」の「有効証拠金」÷「必要証拠金」× 100 で算出されます。

証拠金維持率が下がる要因

有効証拠金の減少 ↘

出金した場合・ポジションに対する含み損が拡大した場合

必要証拠金の増加 ↗

ポジションが増加した場合・証拠金算出に適用されるレートが上昇した場合※

※必要証拠金はリアルタイムレートで算出されます。

つまり、証拠金維持率を上げるためには

- ・入金する(有効証拠金を増やす)
- ・ポジションの一部決済(必要証拠金を減らす)

ということです。

未成立のトラリピ注文(新規注文)を取消することは証拠金維持率の回復につながりますか？



上記でご説明したように、証拠金維持率をあげるためには「入金」「ポジションの一部決済」の方法なので、未成立の新規注文を取消しても証拠金維持率は回復しません。

ただし、未成立の新規注文がある状態ということは今後のレートの動きによって、その新規注文が成立し、「ポジション」が増える可能性があるということです。

ポジションが増えると必要証拠金が増加し、証拠金維持率が下がってしまうので、証拠金維持率が下がることを防ぎたい場合は未成立の新規注文を取消するのも有効です。

証拠金維持率が100%に近づいたら

話を元に戻して

証拠金維持率を上げる方法について

ここでは、保有ポジションを一部損切りすることで必要証拠金を減らして証拠金維持率を回復する方法をご説明します。

トラリピのポジションを手動で決済する方法

トラリピの保有ポジションをまとめて決済する方法と一部のポジションのみ決済する方法の二通りあります。

トラリピ毎まとめて決済

トラリピ管理表 → トラリピの取消を選択

取消するときに「ポジションを決済する(今すぐ成行で決済する)」を選択(P.7)

ポジションを残す	
<input type="radio"/>	決済注文を残す 決済後リピートせずに終了します
<input type="radio"/>	決済注文を取り消す 改めて決済注文の入力が必要です

ポジションを決済する	
<input checked="" type="radio"/>	今すぐ成行で決済する

トラリピの一部ポジションだけ決済

「トラリピ管理表」の「トラリピ詳細」から決済したいトラップの取消(P.14)



「ポジション一覧」より該当のポジションを「クイック決済」

PC取引画面はポジション一覧右端に【クイック決済】ボタンがあるのでボタンを押すと決済されます。

アプリ画面の場合

決済したいポジションをタップ

通貨ペア/銘柄	売買数量	取得価格	評価損益	(ポジション) (スワップ等)
USD/JPY	買 0.1	149.500	-1,993	-1,995 +2
USD/JPY	買 0.1	149.600	-2,093	-2,095 +2
USD/JPY 注文あり	買 0.1	149.486	-1,979	-1,981 +2

アプリ画面下に表示されるメニューから「クイック決済」を選択

ポジション詳細	
ポジション詳細	>
決済注文	>
クイック決済	>

証拠金維持率が100%に近づいたら

評価損が大きいポジションと小さいポジション、 損切りしたときに証拠金維持率がより回復するのはどっち？

ポジションが複数あって、証拠金維持率を上げるために一部損切りしようとした場合、含み損が大きいポジションと小さいポジションどちらを損切りしたほうが維持率が上がるのか、迷われるかと思います。

答えは、**評価損が大きいポジションと小さいポジションどちらを損切りしても証拠金維持率の回復の程度に大きな差はありません。**



変わらない理由をご説明

例) 以下3つの買いポジションを1万通貨ずつ保有しています。今のレートが135円とします。

ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
140円	-50,000円	54,000円
139円	-40,000円	54,000円
138円	-30,000円	54,000円

口座状況は以下のような状態です。

証拠金維持率234%

預託証拠金	有効証拠金	評価損益	必要証拠金
500,000円	380,000円	-120,000円	162,000円

一番評価損が大きい140円のポジションを損切りした場合

ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
140円	-50,000円	54,000円
139円	-40,000円	54,000円
138円	-30,000円	54,000円

損切り

一番評価損が小さい138円のポジションを損切りした場合

ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
140円	-50,000円	54,000円
139円	-40,000円	54,000円
138円	-30,000円	54,000円

損切り

それぞれ損切りした後の口座状況を比較すると……

証拠金維持率が100%に近づいたら

一番評価損が大きいポジションを損切りした場合

証拠金維持率351%

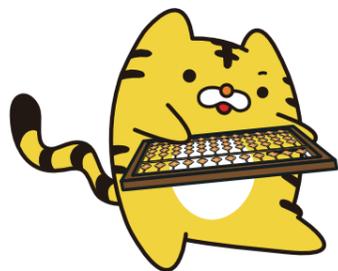
預託証拠金	有効証拠金	評価損益	必要証拠金
450,000円	380,000円	-70,000円	108,000円

一番評価損が小さいポジションを損切りした場合

証拠金維持率351%

預託証拠金	有効証拠金	評価損益	必要証拠金
470,000円	380,000円	-90,000円	108,000円

証拠金維持率はどちらも
同じく351%になったがう



証拠金維持率は有効証拠金と必要証拠金で算出されるため、ポジション決済に際して評価損の大小は証拠金維持率と関係がないということです。

一方、**損切りする金額を決めてポジションの決済を行う場合**、評価損が大きいポジションよりも小さいポジションの方が決済できるポジション数が多いため、証拠金維持率がより回復します。

例) 以下のようなポジション状況(1万通貨ずつ保有しています)

で**6万円損切り**するとした場合
(預託証拠金は70万円とします)

今のレートは135円

ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
141円	-60,000円	54,000円
140円	-50,000円	54,000円
139円	-40,000円	54,000円
138円	-30,000円	54,000円
137円	-20,000円	54,000円
136円	-10,000円	54,000円

証拠金維持率が100%に近づいたら

評価損-6万円のポジションを1つ(1万通貨)決済した場合

	ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
損切り	141円	-60,000円	54,000円
	140円	-50,000円	54,000円
	139円	-40,000円	54,000円
	138円	-30,000円	54,000円
	137円	-20,000円	54,000円
	136円	-10,000円	54,000円

評価損-1万円、-2万円、-3万円(合計-6万円)の3つのポジション(合計3万通貨分)を決済した場合

	ポジションの取得価格	評価損益	必要証拠金
	141円	-60,000円	54,000円
	140円	-50,000円	54,000円
	139円	-40,000円	54,000円
損切り	138円	-30,000円	54,000円
損切り	137円	-20,000円	54,000円
損切り	136円	-10,000円	54,000円

それぞれ損切りした後の口座状況を比較すると……

評価損-6万円のポジションを1つ(1万通貨)決済した場合

証拠金維持率181%

預託証拠金	有効証拠金	評価損益	必要証拠金
640,000円	490,000円	-150,000円	270,000円

評価損-1万円、-2万円、-3万円(合計-6万円)の3つのポジション(合計3万通貨分)を決済した場合

証拠金維持率302%

預託証拠金	有効証拠金	評価損益	必要証拠金
640,000円	490,000円	-150,000円	162,000円

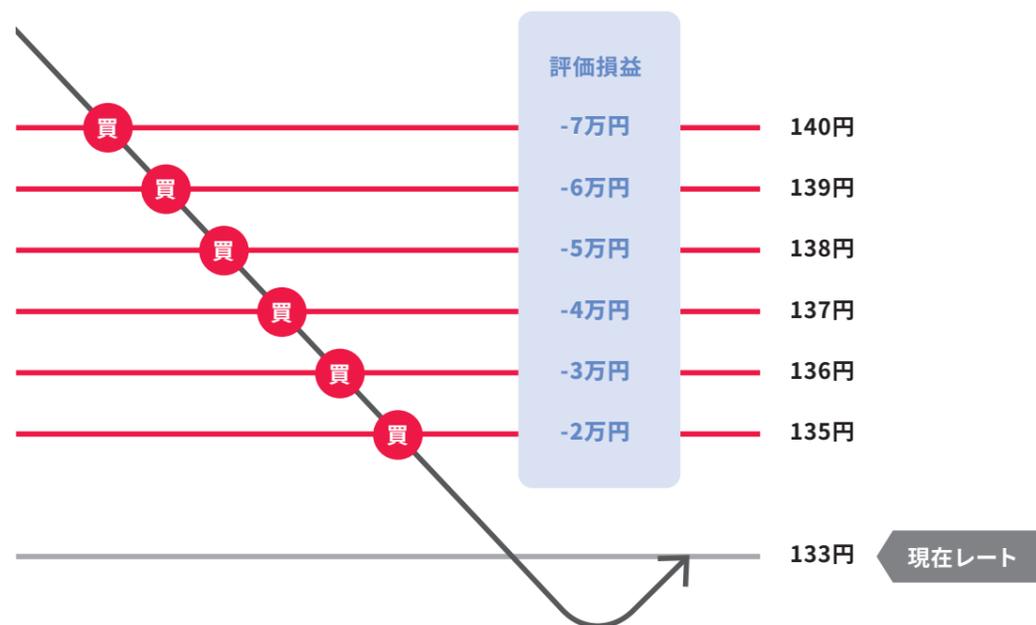
つまり、証拠金維持率を回復させるためにポジションを決済する場合、そのポジションに発生している評価損の大きさは維持率には影響せず、**ポジションの量(注文数量)**が影響してくるということです。

決済するポジション量が多ければ多いほど、必要証拠金が減少するので、証拠金維持率が上がります。

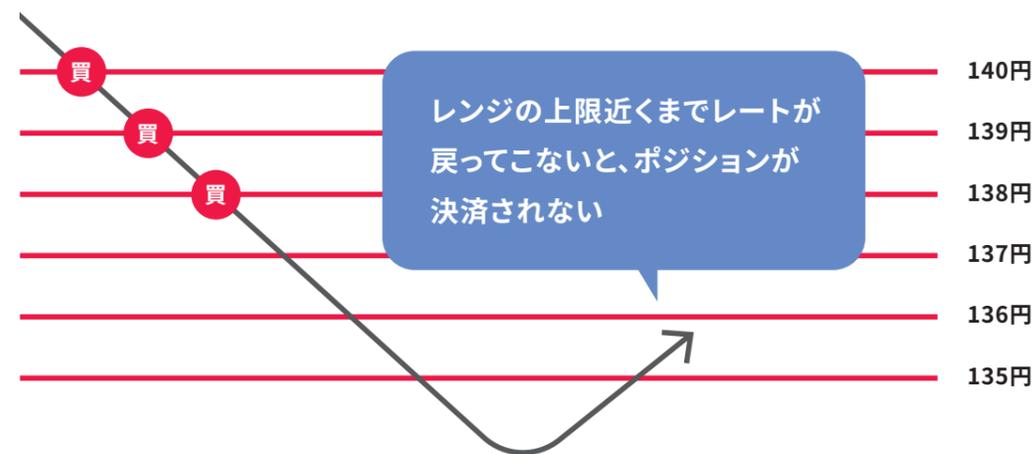
証拠金維持率が100%に近づいたら

なお、レートがレンジ内に戻ってきた場合、評価損の小さいポジションの方が相対的に利益が確定されやすいことにご留意ください。

例)米ドル/円の買いトラリピをレンジ(135円~140円)トラップ本数6本(1本あたり1万通貨)利益金額1,000円で設定しています。現在のレートはレンジを下回っており、133円となっています。



この状態で、証拠金維持率を上げるため、135円、136円、137円のポジション(合計-9万円)を損切りしました。



このように、評価損の小さいポジションを損切りした場合、レンジ内にレートが戻ってきても、残っているポジションの決済価格までレートが上昇しないと利益が確定されないことにご留意ください。

ポイントまとめ

- 証拠金維持率を回復させるためにポジションを一部損切りする場合、そのポジションに発生している評価損の大きさは維持率には影響せず、ポジションの量(注文数量)が影響してくる
 - 損切りする金額を決めてポジションを決済する場合、評価損の小さいポジションを多く決済したほうが証拠金維持率が回復する
- ただし、レートがレンジ内に戻ってきたときに利益確定されやすいのは評価損の小さいポジションのため、評価損の小さいポジションを損切りすることにもメリット・デメリットがあることに注意する。

証拠金維持率が100%に近づいたら

リスクシミュレーションで試算

入金やポジションを決済した場合、どのくらい証拠金維持率が上がるか、リスクシミュレーションを利用することで確認することができます。

※リスクシミュレーションはPCトレード画面、アプリ共にご利用いただけますが、下記はPCトレード画面のイメージです。

リスクシミュレーション画面

USD/JPY		EUR/JPY		EUR/USD		EUR/GBP		AUD/JPY		AUD/USD		AUD/NZD		NZD/JPY		NZD/USD		CAD/JPY		USD/...	
BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK	BID	ASK
149.475	149.525	158.470	158.497	1.05575	1.05603	0.86700	0.86719	95.480	95.501	0.64606	0.64627	1.07160	1.07200	89.735	89.785	0.60231	0.60250	108.000	108.010	1.35255	1.35255

通貨ペア	高	平均価格	買	平均価格	評価損益	必要証拠金	残証拠金	必要証拠率
USD/JPY	-	-	19,000	150.819	-21,695	113,601	472,911	566,513

証拠金維持率	実質レバレッジ	買証拠金	評価損益	有効証拠金	必要証拠金	必要証拠率	残証拠金
861%	2.91倍	1,000,000	-21,695	978,305	113,601	586,513	391,792

こちらの操作方法については『[トラリピ上級者になろうの巻](#)』で詳しくご説明していますので、ご参照ください。



試算できるから安心がう

両建て時はポジション決済しても
維持率が回復しない場合があります！

両建てとは同一通貨ペア/銘柄で買いと売り双方のポジションを保有している状態です。トラリピFX/CFDでは同一通貨ペア/銘柄で売り買い双方のポジションを保有している場合、どちらか高い方のみを証拠金として適用しています。このため、適用されていない方のポジションを決済しても維持率は変わりません。

例)

通貨ペア	売	買	必要証拠金
USD/JPY	5,000	2,000	28,000

売りポジションの証拠金が適用されている

例えば上記のように売りポジションに係る証拠金が適用されている状態で買いポジションを決済しても、必要証拠金は減らないため、証拠金維持率は変わりません。

このため、両建てしている通貨ペア/銘柄について、証拠金維持率を回復するためにポジションを決済する場合は売り買いどちらの証拠金が適用されているのか確認することが必要です。

※トラリピFX/CFDにおける両建て取引では、売値と買値の価格差(=スプレッド)を負担することなどのデメリットがあり、経済合理性を欠くおそれがありますのでご注意ください。

コツコツ長く続けることが トラリピ運用の秘訣



マネースクエアで3年以上お取引いただいているお客様の割合は全体の7割に上り、平均取引期間は7.4年以上となっています。(2024年4月末)

今回の「トラリピをメンテナンスしようの巻」ではトラリピを長く運用していると発生するお悩みポイントについてご説明しました。

これからもトラリピを末永くご愛顧いただけましたら幸いです。

最後まで読んでいただき
ありがとうがう!



トラリピくんぬいぐるみ

■当社サービスに関する注意事項

- ・取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。
- ・当社の店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金で取引を行うため、取引の対象となる金融商品の価格変動により、多額の利益となることもあります。また、お客様が差し入れた証拠金を上回る損失が生じるおそれもあります。また、各金融市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引が不能となるおそれがあります。
- ・店頭外国為替証拠金取引、店頭CFD取引における取引手数料は無料です。
- ・当社が提示するレートには、買値と売値に差（スプレッド）があります。流動性が低くなる場合や、天変地異または戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がる場合があります。
- ・店頭外国為替証拠金取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合、取引総代金の4%以上です。法人のお客様の場合、取引総代金に、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの証拠金率（為替リスク想定比率）を基に当社が算出した証拠金率を乗じた金額となります。為替リスク想定比率は、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。なお、証拠金率（為替リスク想定比率）は変動いたします。店頭CFD取引に必要な証拠金額は、取引総代金の10%です。

株式会社マネースクエア

〒107-6240 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー40F

金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2797号【加入協会】日本証券業協会 一般社団法人 金融先物取引業協会

※2025年4月改訂版